



薩摩川内市立平佐西小学校 学校だより

5月号

おうち

棟の木



令和6年5月21日発行

<http://www.edu.satsumasendai.jp/hirasanishi-e/>

[【hirasanishi-kyoutou@edu-satsumasendai.jp】](mailto:hirasanishi-kyoutou@edu-satsumasendai.jp)

「レジリエンス」と「風の旅」

校長 新田 賢一

5月のさわやかな風に吹かれて元気よく校庭で走り回る子供たちを、校長室から微笑ましく見えています。この子供たちが、これからの時代をたくましく育っていくことを願いながら…。

先日、ノーベル生理学・医学賞博士の山中伸弥先生の対談書を読んでいると、「これからの子供たちには『レジリエンス』が大切だ」という内容が目に残りました。

「レジリエンス」とは、困難に見舞われたとき、ちょうど押されたゴムボールが反発して元に戻るように、簡単に折れてしまわない、しなやかな心持ちのことです。

対談書には、「レジリエンス」を高めるために必要な要素が3つ述べられていました。

- ① 自己肯定感
- ② コミュニケーション力（まわりの人と関係を良好に保てる力）
- ③ 周りの人に助けられていることを実感する力（周りに感謝する力）



本校の教育でも重視しているこれらの力を育てていく大切さを再認識したところです。

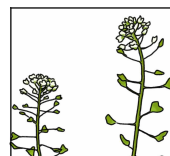
ところで、5月1日の南日本新聞に「星野富弘さん死去」という記事が載りました。

記事には、星野さんのことについて、次のように書かれています。

「中学校教諭だった1970年、クラブ活動の指導中の事故で首から下の身体機能を失った。入院中、見舞いにもらう手紙への返事を書きたくて口で筆をくわえて字を練習。次第に詩や絵画を創作するようになった。」

30年以上前、四季の草花の水彩画に詩を添える作品に心を動かされた私は、「子供たちに読んでほしい」と考え、教室の学級文庫に星野さんの詩画集を並べたことを思い出します。

星野さんが体験された、首から下が動かなくなったときの気持ち、筆をくわえて練習するときの懸命な努力などに対して、すべてを理解することは難しいことですが、そんな逆境に負けなかった星野さんの生き方こそ、本当の「レジリエンス」なのだろうと思います。



星野さんの数多くある詩画集の一つ「風の旅」に収録されている詩です。

神様が たった一度だけ この腕を動かしてくださるとしたら 母の肩を たたかせてもらおう
風に揺れる ペンペン草の実を見ていたら そんな日が本当に来るような気がした

PTA総会への御出席ありがとうございました

令和6年度のPTA総会が5月1日（水）に開催され、役員の方々は以下のように決まりました。

PTA会長	大園 英和
PTA副会長	太利 公宏
〃	山内 隆弘
〃	永井 一美
〃	春山 美喜恵
〃	花木 あゆみ
〃	松岡 仁志
会 計	浦田 麻美
〃	永田 千穂
環境整備部長	山口 誠
研修部長	比志島 昌子
広報部長	御手洗 恵梨
厚生部長	池田 康恵
事業部長	和田 真明
生活指導部長	濱田 美紀
体育部長	鮫島 貴裕
書 記	石丸 寧々 前田 海希 伊福 俊之介 大西 史朗

会長は、総会で「四方よし（児童・保護者・教員・地域の全てによいこと）」を目指すPTA活動にしたいと話され出席された方々もうなずかれていました。

本年度は、努力目標の中に、「1日20分読書」運動をつけ加えました。

下学年は読み聞かせ、上学年は親子で読書の感想や読書に関する話題で話し

合うなど、御家庭に応じた工夫をしながら取り組んでいただきますようお願いいたします。

家庭確認巡回を実施しました

本年度は、家庭訪問を家庭確認巡回に変更して、4月24日（水）から4日間で実施しました。担任の似顔絵等を描いて玄関等に貼ってくださり、担任もとても喜んでいました。本当にありがとうございました。

子供たちは、5月の大型連休後も落ち着いて学校生活を送れています。これからも、学校と家庭との連携がより図れますよう御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

居場所があゝる・絆をつくゝるコーナー

校門で交通指導をしていて、子供たちからの気持ちのよい挨拶に元気ももらっています。門礼をする子供、挨拶に加えて一言話し掛けてくる子供、グッドモーニング！

と元気に挨拶をする子供など様々です。また、先日は、横断後に振り返ってお辞儀をする子供たちの様子を見た方から「運転する側も心が優しくなり、安全に運転する気持ちも高まります。」という話をいただきました。目をしっかり見て、笑顔で、挨拶に一言添えて、など「挨拶は絆をつくる大切なもの」だと改めて感じることでした。



エキサイティング！小中一貫交流活動

昨年度、4年ぶりに復活した交流活動でしたが、本年度も5月11日（土）に、土曜授業で6年生が平佐西小出身の川内中央中の1年生と綱引き交流活動を行いました。綱引き対決は好勝負が多く、小学生も中学生も盛り上がりました。

6年生は2グループに分かれ、チームごとに作戦会議をして中学生から助言をもらったり、小学生対中学生で綱引き勝負をしたりしました。



【小・中混成で綱引き】

また、中学生が昨年度作成した「薩摩川内市について提言しよう」のデータを使って、基本操作を学ぶ時間もありました。お互いに良い体験が実施できた一日でした。



【聞くことで学ぶ児童と教えることで学ぶ生徒たち】

安全について考えました ～ 不審者対応訓練・津波等避難訓練 ～

5月10日（金）3校時に不審者対応の避難訓練を各教室で学習をしました。今回は、ビデオを見ながら各教室で学習をしました。子供たちは、実際の危険な場面で、どのようなことに気を付けて行動すればよいかを真剣に考えていました。

また、13日（月）には8時30分から津波・洪水避難訓練が行われました。1年生も4階校舎まで、静かに早く避難できていました。各訓練を生かし安全な生活ができるように取り組んでいきます。

【1年生も落ちついて4階へ避難】



【主な行事予定】

5/29日（水） 市誕生20周年記念事業
第17回小学校綱引競技大会（6年）

6/4日（火） 法律教室（6年）
5日（水） PTA役員会、福祉体験活動（5年）
8日（土） 緊急災害時等における児童引き渡し訓練（2～3校時）
※ 1年と中央中にきょうだいがいる児童等
10日（月） 校内読書旬間（～24日）
家庭学習強調週間（～17日）
15日（土） 川内中央中学校区5校PTA交流会
18日（火） 川内中央中学校区特別支援学級交流学习
25日（火） PTA評議委員会